イソプレン	一・〇			
イソプロピルアミン	一・〇			
イソプロピルエーテル	一・〇			
イソヘキサン	一・〇			
イソヘプタン	一・〇			
イソペンタン	一・〇			
エタノール	一・二			
エチルアミン	一・〇			
オクタン	一・二			
ガソリン	一・〇	一・〇	一・〇	一・〇
ギ酸エチル	一・〇			
ギ酸プロピル	一・〇			
ギ酸メチル	一・〇			
軽油	一・〇	一・〇	一・〇	一・〇
原油	一・〇			
酢酸エチル	一・〇			
酢酸メチル	一・〇			
酸化プロピレン	一・八			
シクロヘキサン	一・〇			
ジエチルアミン	一・〇			
ジエチルエーテル	一・二			
ジオキサン	一・六			
重油	一・〇	一・〇	一・〇	一・〇
潤滑油	一・〇			
テトラヒドロフラン	一・〇			
灯油	一・〇	一・〇	一・〇	一・〇
トリエチルアミン	一・〇			
トルエン	一・〇			
ナフサ	一・〇			
二硫化炭素	三・〇			
ビニルエチルエーテル	一・二			
プロパノール	一・〇			
二―プロパノール	一・〇			
プロピルアミン	一・〇			
ヘキサン	一・〇			
ヘプタン	一・〇			
ベンゼン	一・〇			
ペンタン	一・〇			
メタノール	一・六			
メチルエチルケトン	一・〇			

別表第二（第四条第一号イ関係）

別表第一に掲げる危険物以外の危険物及び同表において係数を定めている危険物以外の危険物に係る係数は、一に規定する装置を用い、二に規定する試験の実施手順に従って得られる数値に基づき、三に規定する算式により求めるものとする。

一　装置

装置は、図一又は図二に示すカップ燃焼装置とする。

二　試験の実施手順

イ　燃料貯蔵器の中に危険物を入れる。

ロ　燃料貯蔵器の下のスタンドを調節して、危険物の高さがカップ最先端から一ミリメートル以内になるようにする。

ハ　危険物の温度を、二十五度又は引火点より五度高い温度のうちいずれか高い方の温度になるようにカップのヒータで調節する。

ニ　適当な方法で危険物に点火する。

ホ　空気の流量を四十リットル毎分に調節する。

ヘ　消火剤を流し始め、炎が消えるまで少しずつ流量を増加し、炎が消えた時点の消火剤の流量を記録する。

ト　十ミリリットル程度の危険物をカップの表面からピペットで除く。

チ　ニからトまでの操作を三回以上繰り返し、結果を平均する。

リ　次の式によってＴＣを算出する。

$$TC = \frac{Vf}{40 + Vf} \times 100$$

ＴＣは、消炎濃度（単位　パーセント）

Vfは、炎が消えた時点の消火剤の流量の平均値（単位　リットル毎分）

ヌ　危険物の温度を、沸点より五度低い温度又は二百度のうちいずれか低い方の温度になるようにカップのヒータで調節する。

ル　ロ及びニからリまでの操作を繰り返す。

ヲ　ロからリまでの操作結果又はヌ及びルの操作結果のうち高い方のＴＣの値をＣとする。